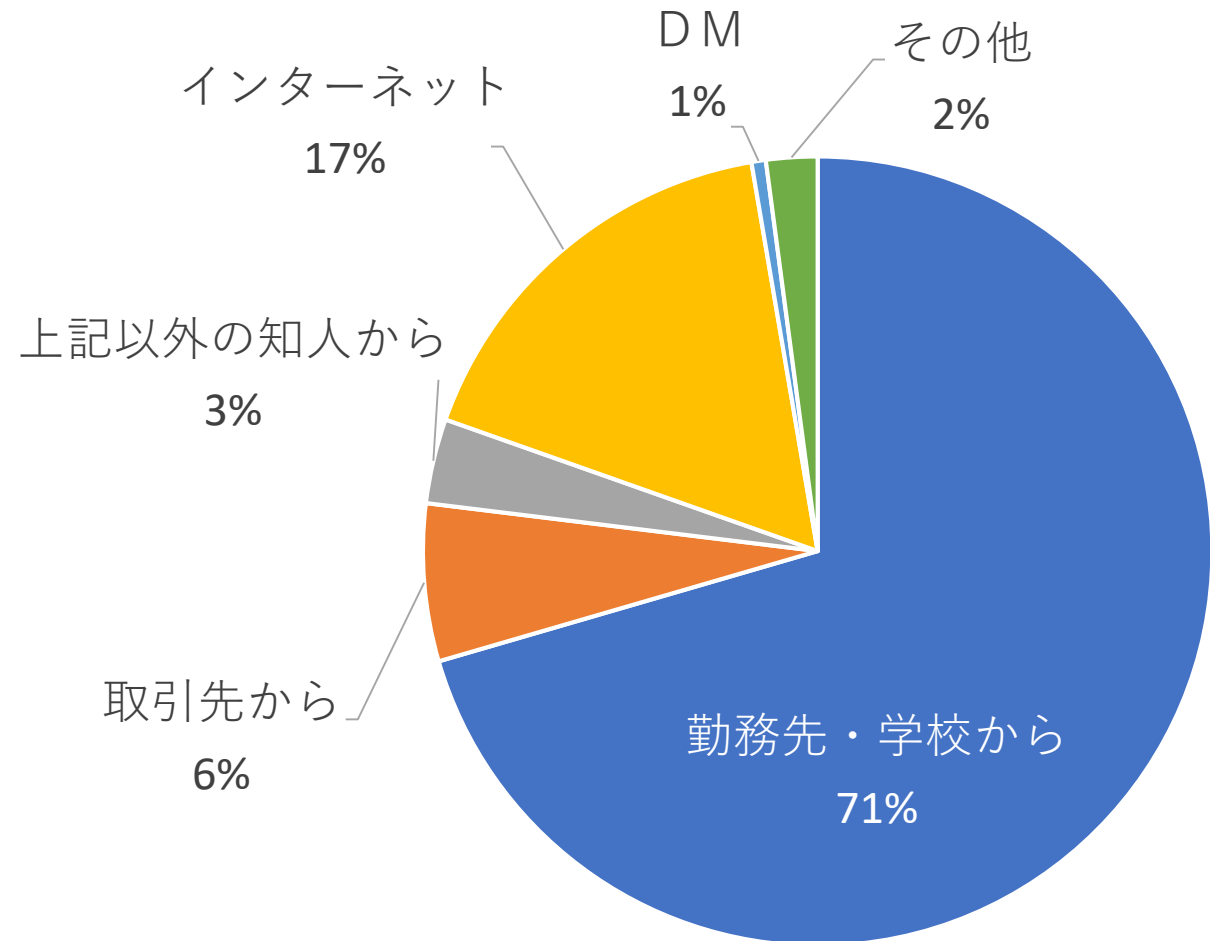


食品表示検定 合格者アンケートレポート

【問1】 食品表示検定を知ったきっかけは <複数回答可n=2,047>



その他の回答（一部抜粋）

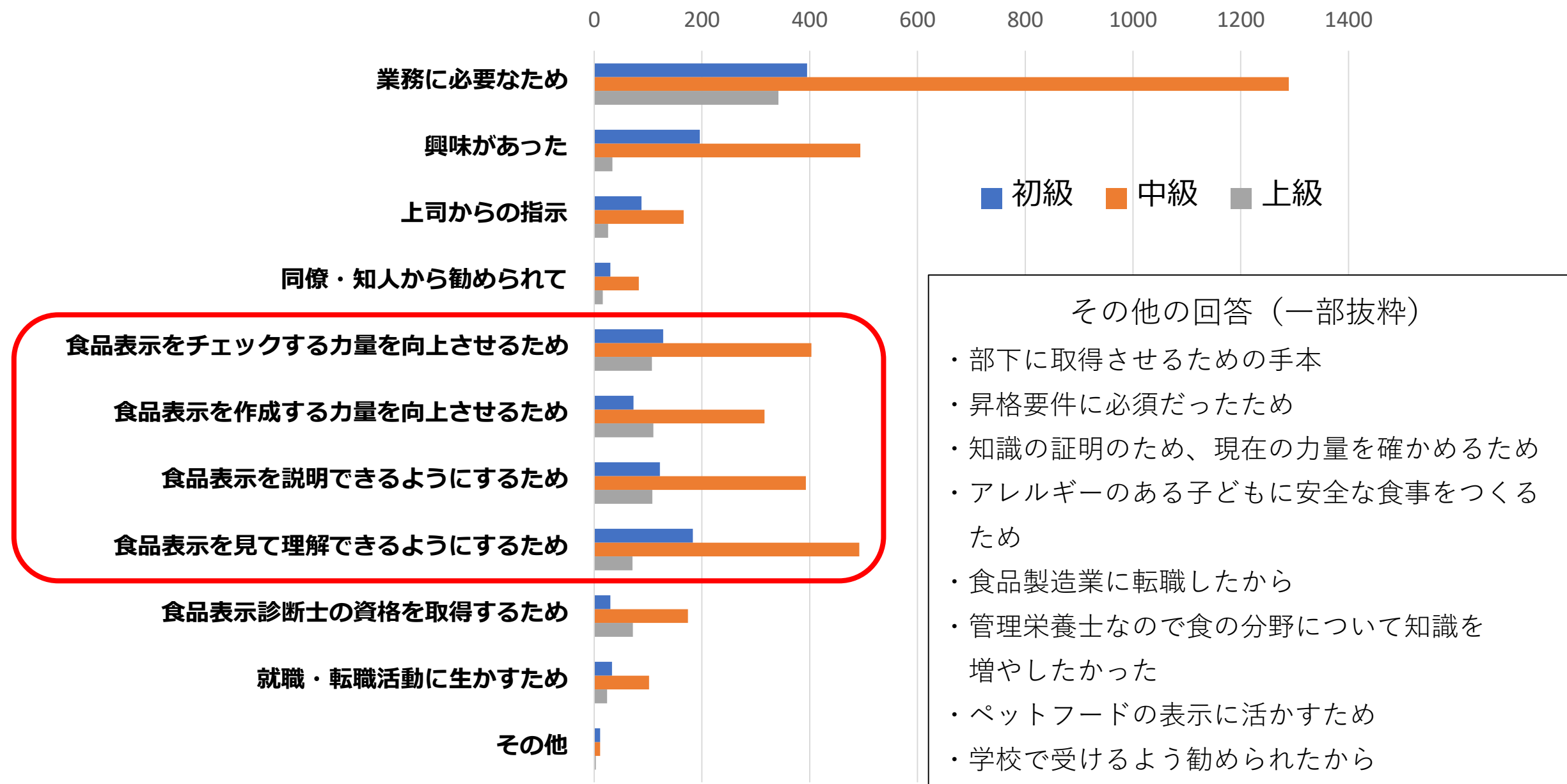
- ・ 転職活動の際に、食品表示検定必須、優遇資格の企業があった
- ・ ハローワークの求人の必要資格欄を見て興味を持った
- ・ 転職活動の際に、食品関連の資格一覧を見て
- ・ 会社の褒賞制度にあった
- ・ 取引先の方の名刺にマーク、資格名の記載があった
- ・ 書店でテキスト本を見て
- ・ 家族に薦められて
- ・ 新聞記事、雑誌
- ・ テレビ番組

※全体の7割が「勤務先・学校」より食品表示検定試験の情報を入手し、また受験のきっかけとされています。

※人材募集の条件に、食品表示検定の資格取得者を優遇されている企業・団体も増えているようです。

食品表示検定 合格者アンケートレポート

【問2】 食品表示検定受験の目的は <複数回答可n=6,121>

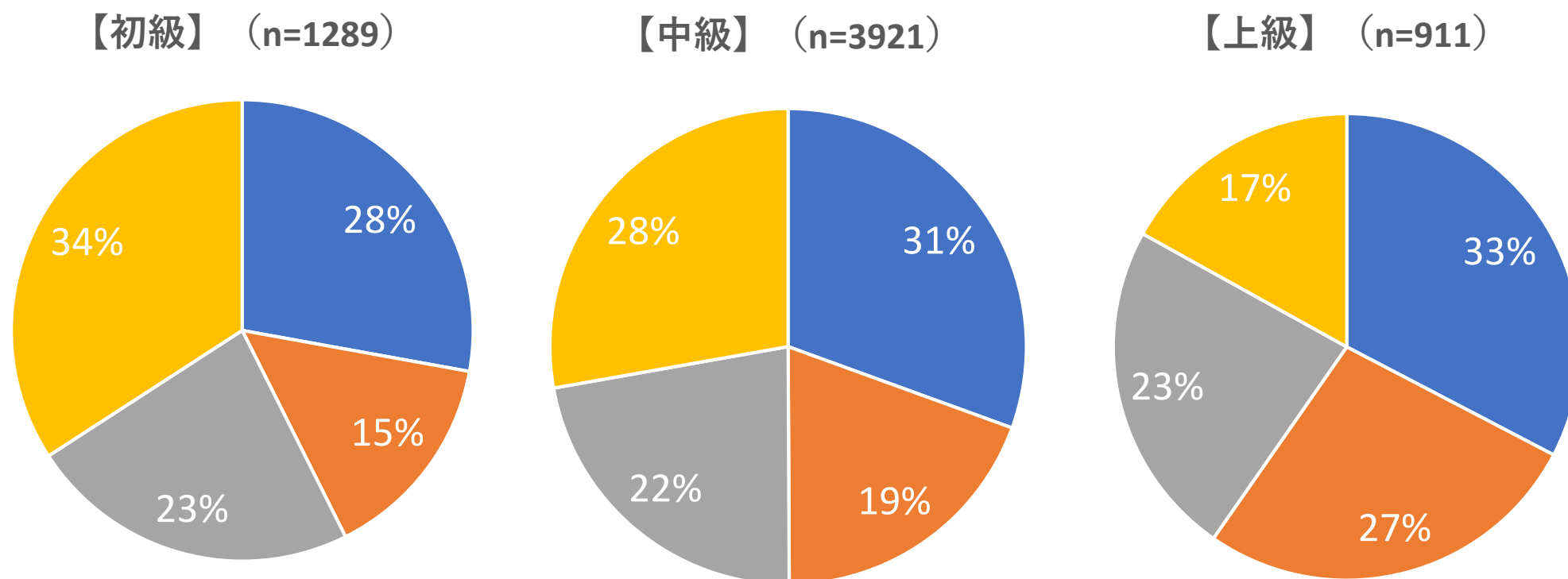


※受験の目的は「業務に必要なため」が全体の件数の33%を占めています。
 また赤枠内4項目の回答からも、職場等で食品表示の力量アップが必要とされており、多くの方が明確な目的意識を持って受験に臨まれているようです。

食品表示検定 合格者アンケートレポート

【問2】 食品表示検定受験の目的は【合格級別】 <複数回答可n=6,121>

食品表示の力量アップに関する前ページの赤枠内4項目について、級別に回答割合を記したのが下記グラフです。

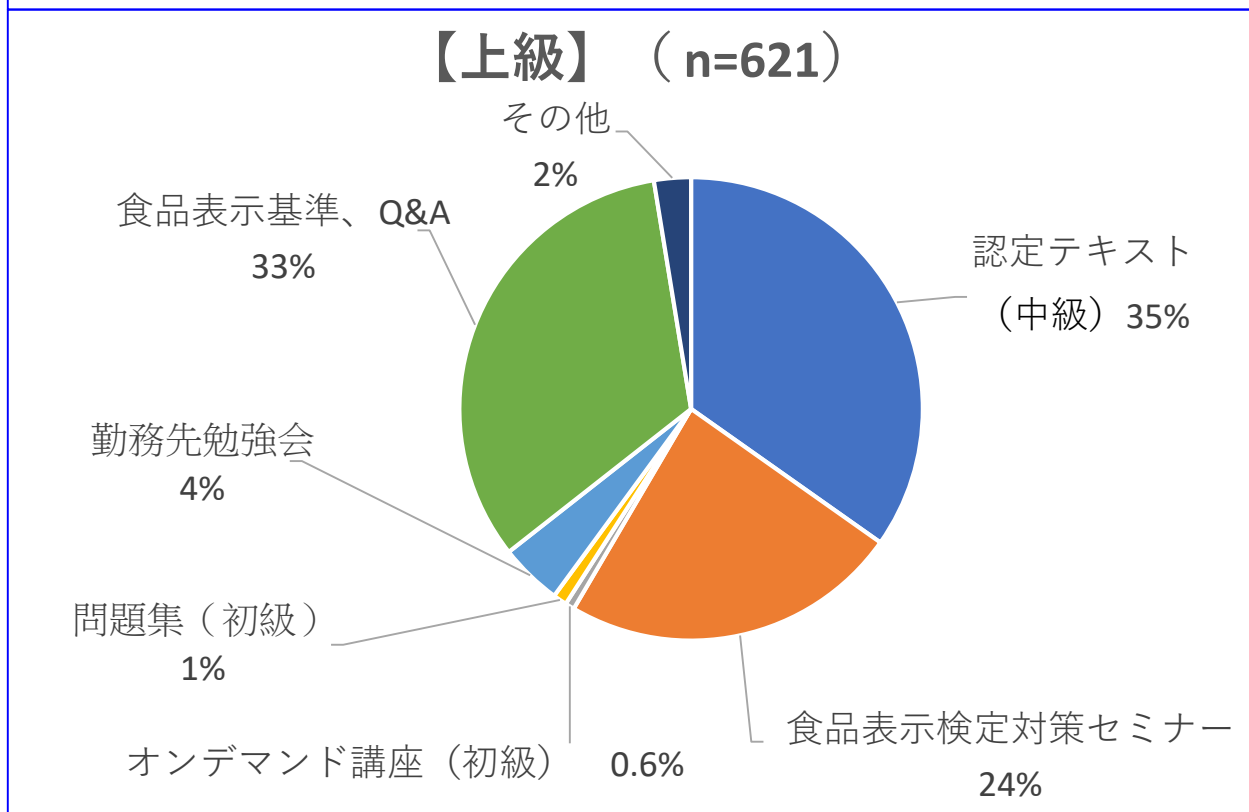
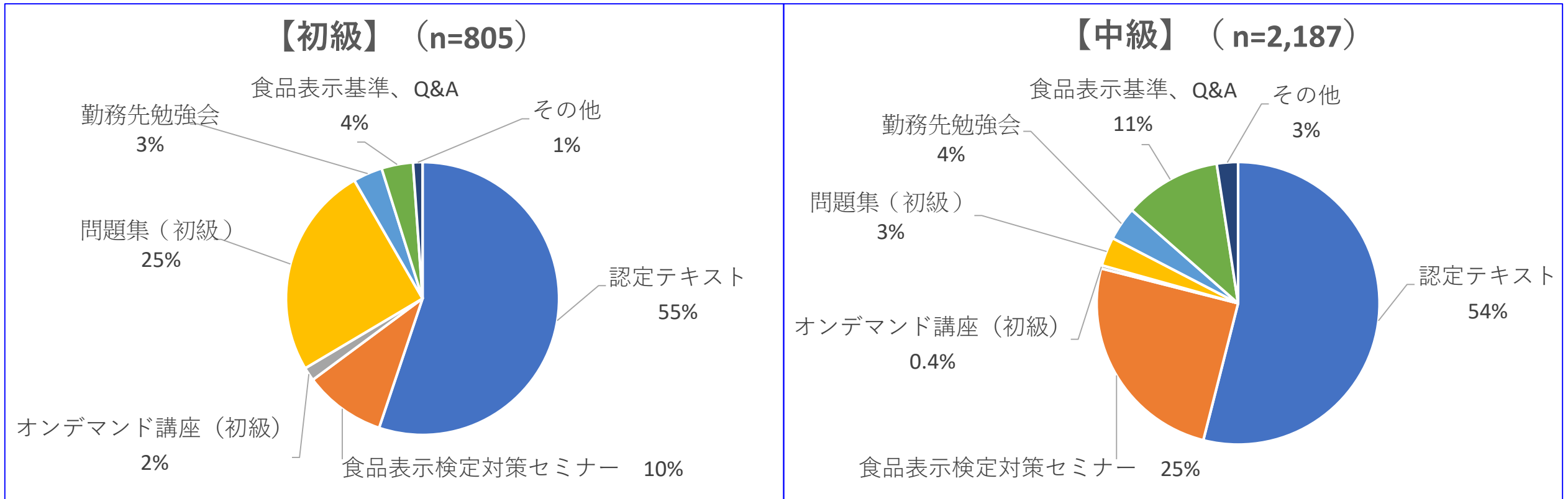


- 食品表示を見て理解できるようにするため
- 食品表示を作成する力量を向上させるため
- 食品表示を説明できるようにするため
- 食品表示をチェックする力量を向上させるため

※初級は新入社員の方や学生、主婦の方も多く、まずは「食品表示を見て理解できるようにする」ことを目的とし、受験される方が多くなっています。
 ※中級、さらに上級になるにつれ「表示を作成する力量」及び「表示をチェックする力量」アップを目指し、指導ができる立場を目指される方が多いようです。

食品表示検定 合格者アンケートレポート

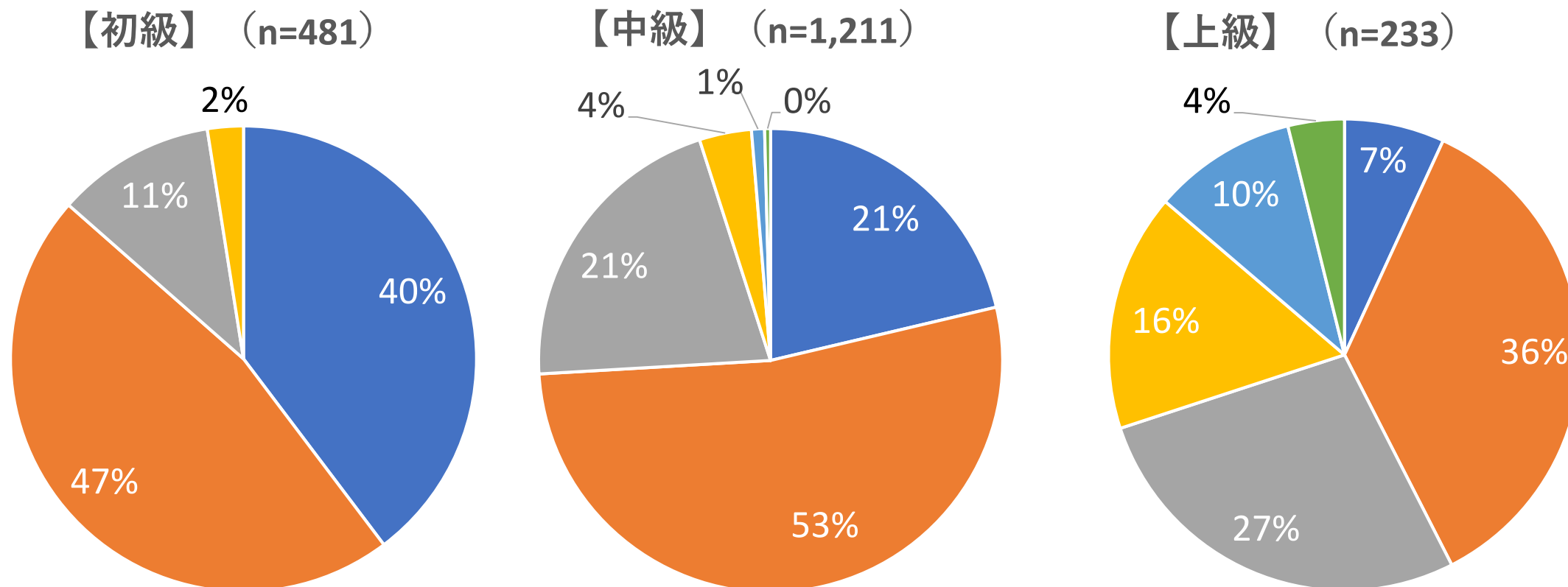
【問3】 受験のための勉強方法として何を活用しましたか <複数回答可>



- その他の回答 (一部抜粋)
- 【初級】
- ・HP掲載の過去問など
- 【中級】
- ・HP掲載の過去問など
 - ・通信教育 (PHP)
 - ・群馬県の食品表示のガイド
 - ・東京都発行の資料
 - ・合格者からのアドバイス
 - ・消費者庁に問い合わせ
 - ・スーパーや量販店などの店頭で食品表示内容確認
 - ・学校での勉強会
 - ・有志による勉強会
- 【上級】
- ・消費者庁の食品表示ガイド、東京都のハンドブック
 - ・スーパーや量販店などの店頭で食品表示内容確認
 - ・官公庁、自治体のすべての資料
 - ・合格者による勉強会
 - ・外部のセミナー資料
 - ・関連書籍

食品表示検定 合格者アンケートレポート

【問4】 食品表示検定受験のための受験勉強期間はおおむねどれくらいですか <n=1,925>



■ 1か月未満 ■ 1か月以上3か月未満 ■ 3か月以上6か月未満 ■ 6か月以上12か月未満 ■ 12か月以上24か月未満 ■ 24か月以上

※合格するための受験勉強期間は、初級は4割が1か月未満と短期集中型、全体の9割近くが3か月未満となっています。

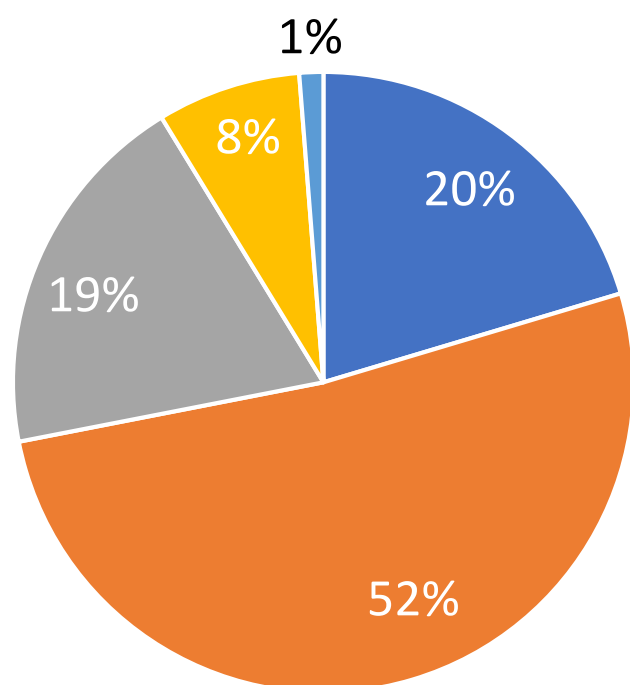
※中級は約半数が3か月程度の勉強期間となっており、3か月以上の方も約3割あり、初級に比べ多くの期間を勉強にあてられています。

※上級は勉強期間に個人差がありますが、半年以上の方も3割、中には1年以上も勉強期間にあてている方もおられ、長期間に渡り準備されています。

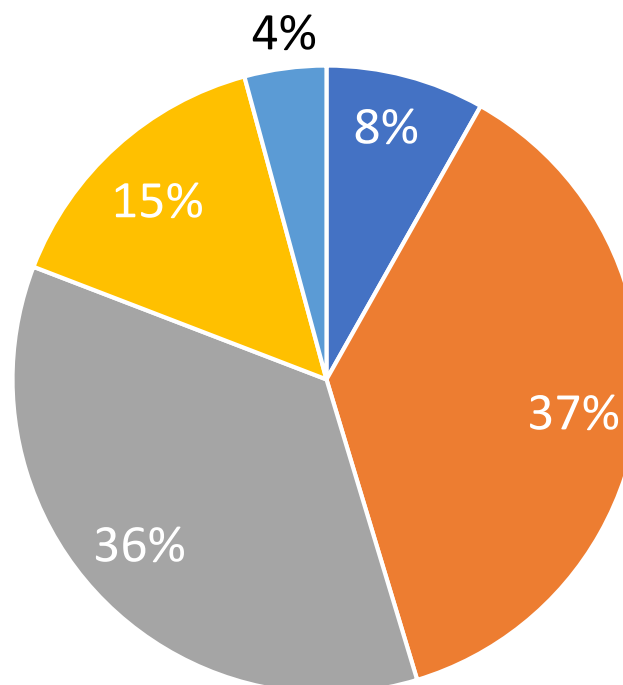
食品表示検定 合格者アンケートレポート

【問5】 食品表示検定受験のための総受験勉強時間はおおむねどれくらいですか <n=1,925>

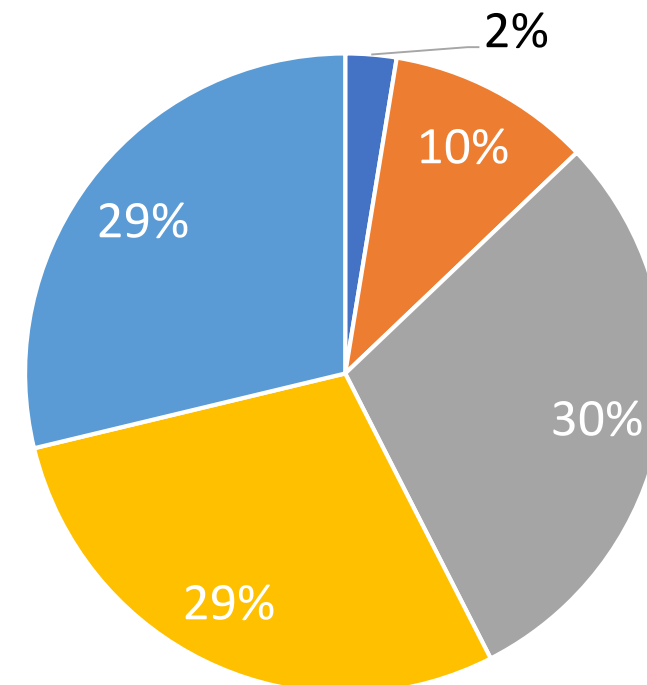
【初級】 (n=481)



【中級】 (n=1,211)



【上級】 (n=233)



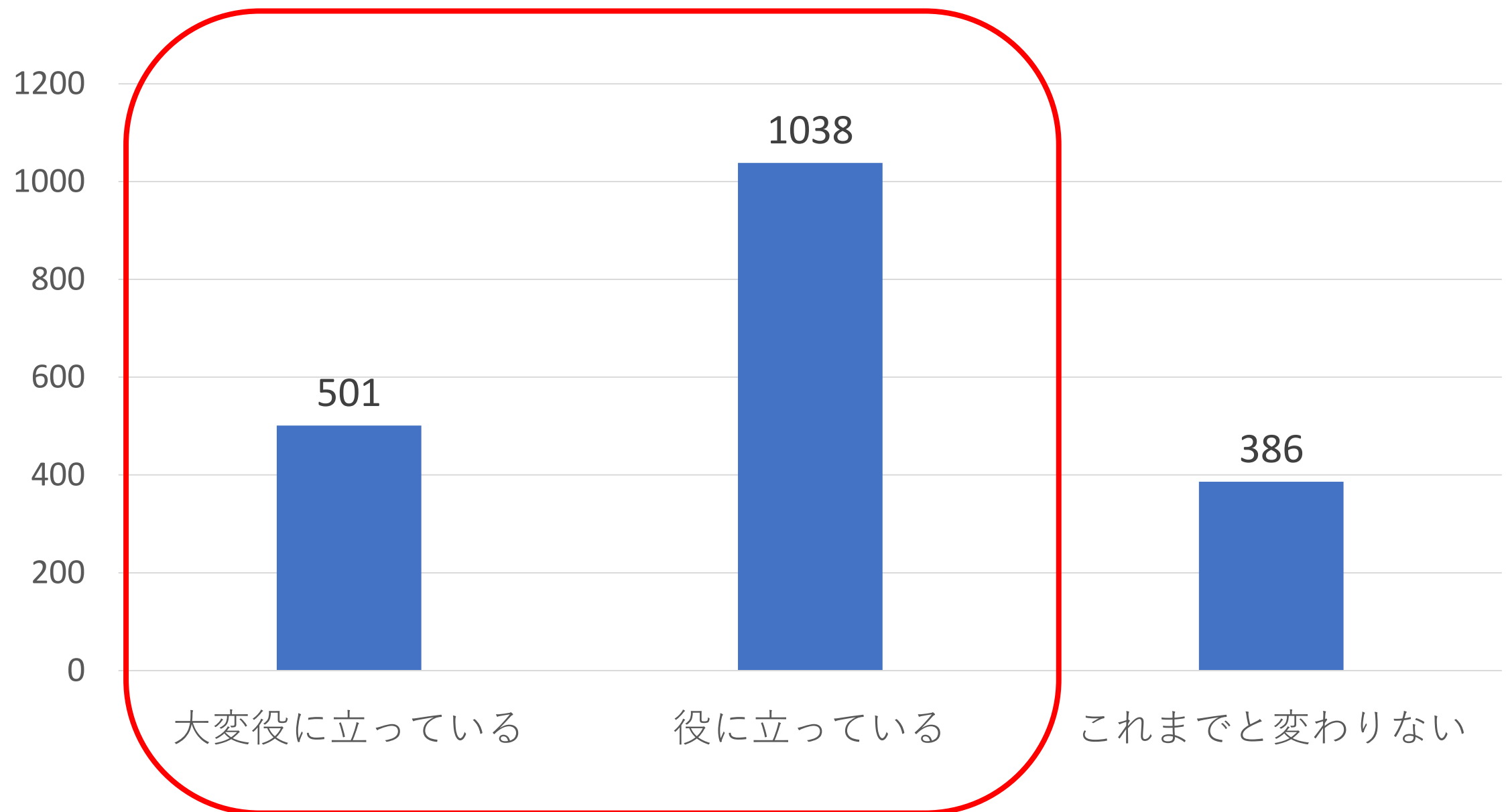
■ 10時間未満 ■ 10時間以上30時間未満 ■ 30時間以上60時間未満 ■ 60時間以上100時間未満 ■ 100時間以上

※合格するための受験勉強時間は、初級は7割程度の方が30時間未満となっておりますが、中級は30時間以上の方が半数を占めています。
 ※上級は勉強期間同様勉強時間にも個人差がありますが、60時間以上の方が約6割を占め、100時間以上の方も3割となっております。

食品表示検定 合格者アンケートレポート

【問6】 食品表示診断士の取得は業務および日常で役にたっていますか

<n=1,925>

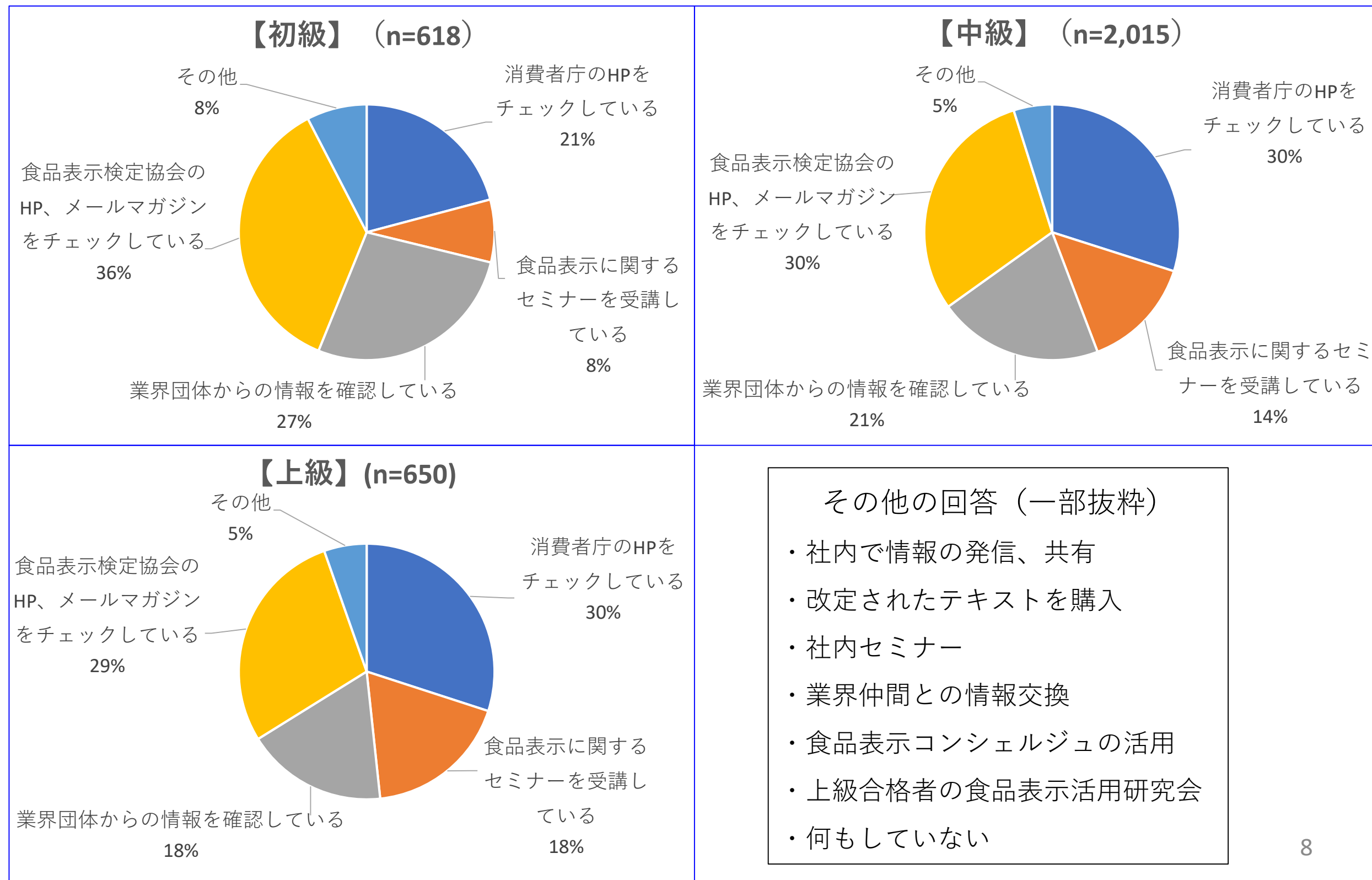


※合格者全体の約8割の方に、食品表示診断士の資格所得を日常業務で役立てていただいています。

食品表示検定 合格者アンケートレポート

【問7】 食品表示に関する情報収集はどのようにされていますか

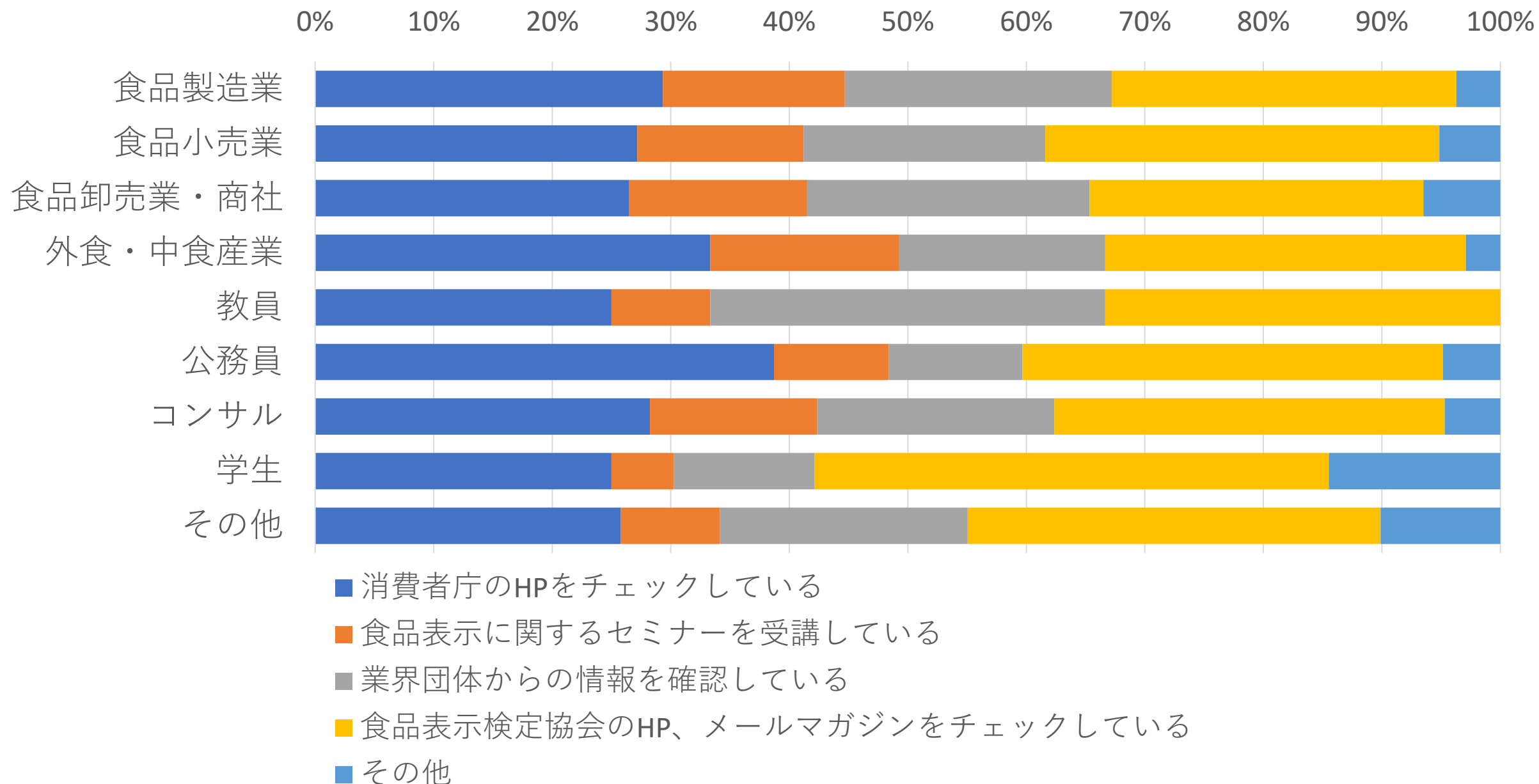
【合格級別】 <複数回答可n=3,283>



食品表示検定 合格者アンケートレポート

【問7】 食品表示に関する情報収集はどのようにされていますか

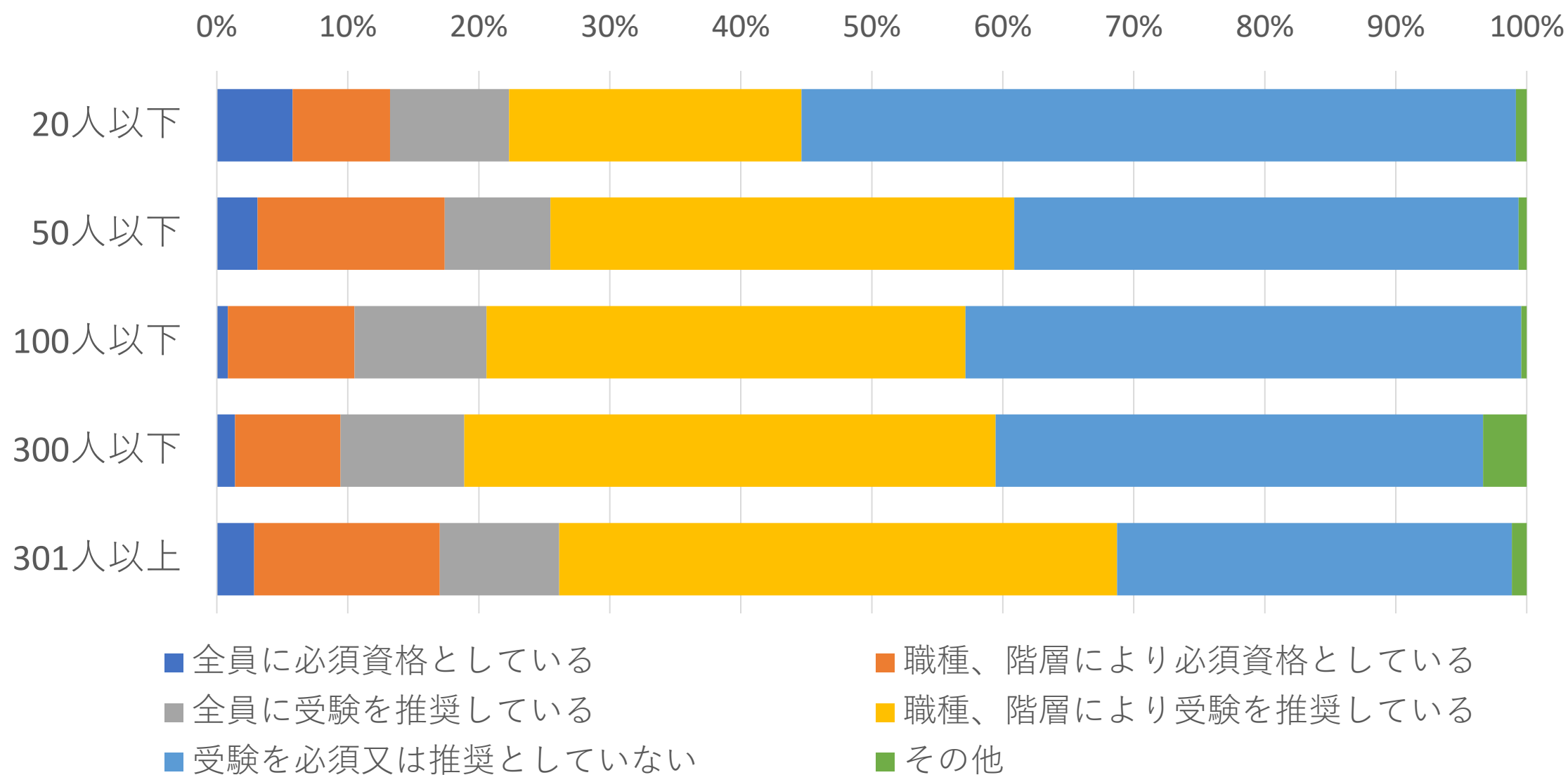
【業種別】 <複数回答可n=3,283>



※業種の違いによる情報収集の仕方にさほど大きな違いは見られず、消費者庁のHP、食品表示検定協会のHPやメルマガを利用されている方が多いようです。
 ※業界団体や社内での情報交換等をされている方も多くいらっしゃいます。

食品表示検定 合格者アンケートレポート

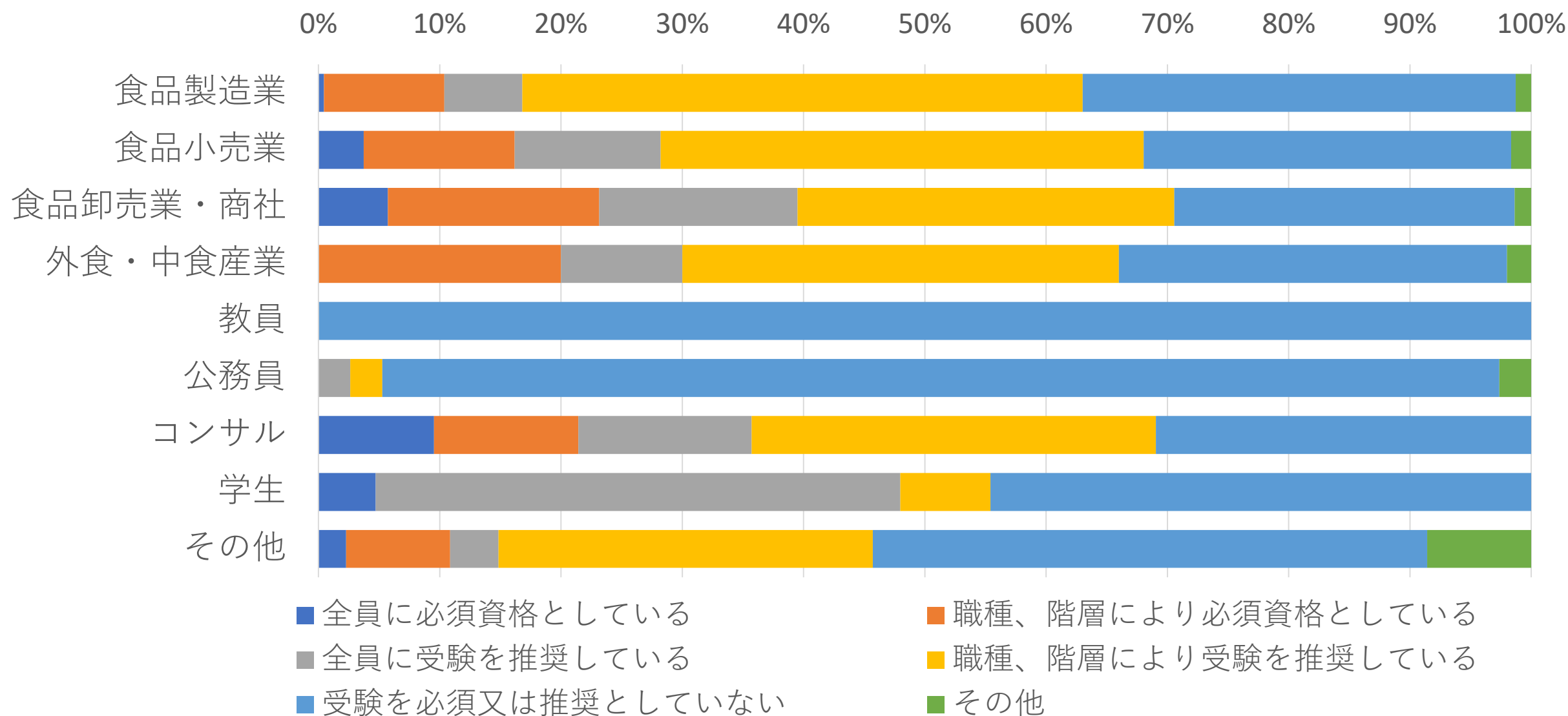
【問8】 ご自身の勤務先、学校等での食品表示検定の対応はどうなっていますか 【規模(従業員数)別】 <n=1,925>



※従業員数が50人を超える企業・団体では、約6割が資格を必須または推奨とされ、300人以上では約7割、20人以下の企業・団体においても、5割近くが必須または推奨とされています。企業の規模に関わらず、食品表示検定により社員の食品表示に関する力量を高めることへの関心が高いことが伺えます。

食品表示検定 合格者アンケートレポート

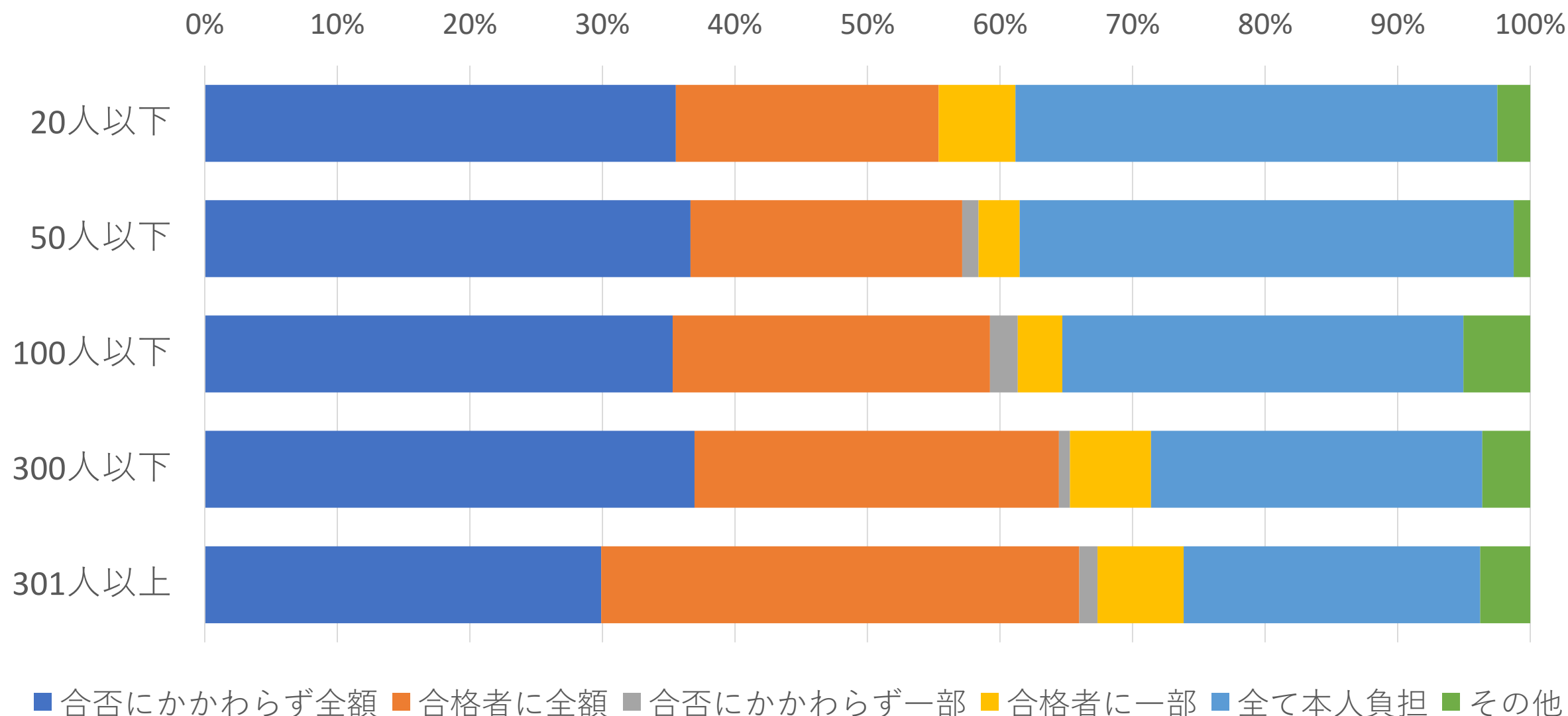
【問8】 ご自身の勤務先、学校等での食品表示検定の対応はどうなっていますか【業種別】 <n=1,925>



※食品関連業界では資格を必須または推奨している割合が全体の7割近くとなっており、企業・組織として、資格を取得することに意欲的に捉えられていることが分かります。
 ※合格者を輩出されている学校でも、学部・学科により6割近く推奨されています。
 ※教員・公務員の方々は自らの意思でご受験されている方が多く、教員の方は最初に自ら受験され、その後学生に推奨するケースが多いようです。

食品表示検定 合格者アンケートレポート

【問9】 受験料の負担についてはどうなっていますか 【規模(従業員数)別】
 <n=1,925>

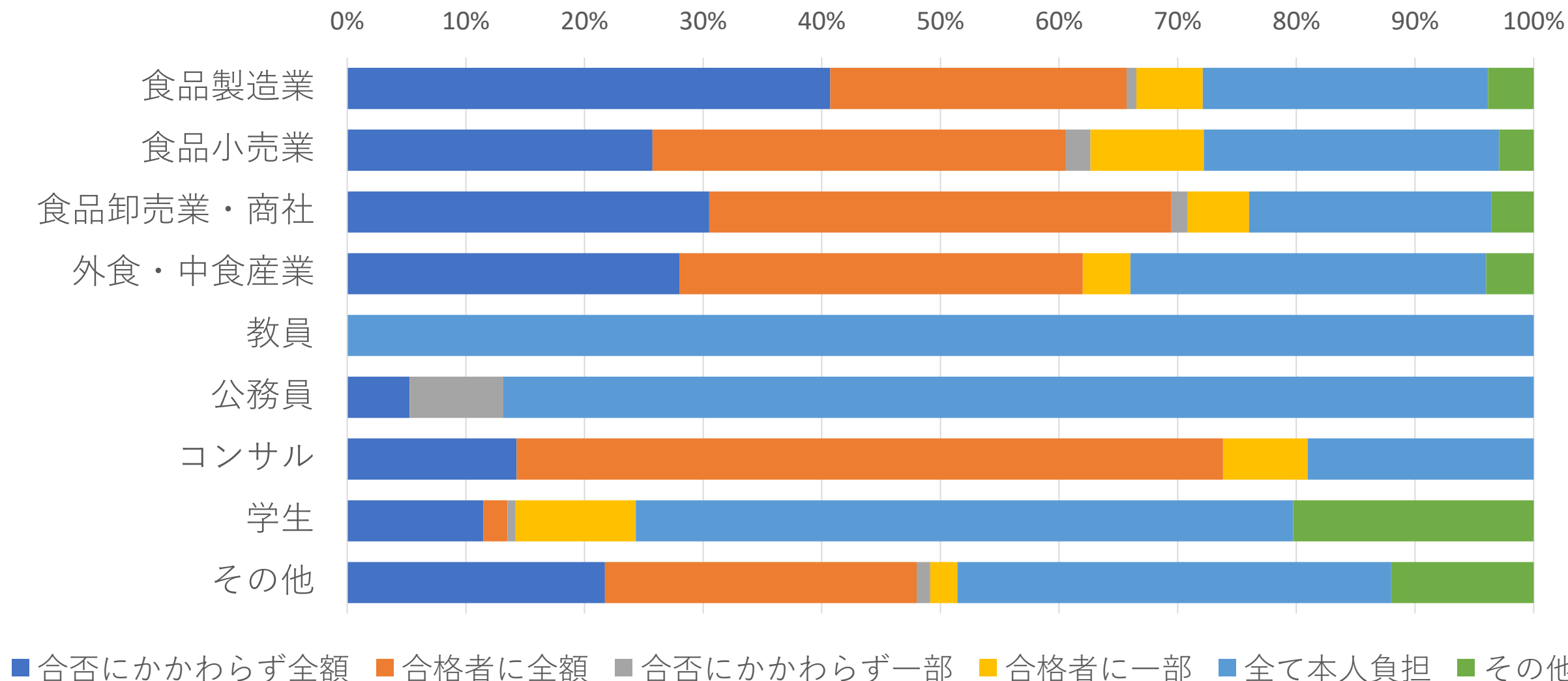


※従業員数の多い少ないにかかわらず、何らかの形で勤務先より受験料の負担がある場合が多く、全体でも6割を超えています。
 ※その他、回数制限を設けて勤務先負担、受験級により勤務先負担、また事前申請の場合に限り勤務先負担とされているケースや、本人負担だが合格すると報奨金が出るという回答もありました。

食品表示検定 合格者アンケートレポート

【問9】 受験料の負担についてはどうなっていますか 【業種別】

<n=1,925>



※食品関連業界では、何らかの形で勤務先より受験料負担をされている場合が多く、全体の約7割に上ります。
 ※教員・公務員の方々は自らの意思でご受験されている方が多いこともあり、自己負担での受験が大半を占めるようです。